580829 4112

大正七年二月廿七日接受

海諜支報第六〇壱號

大正七年二月二十六日　海軍軍令部

上海電報（二月二十二日発）

徐世昌及段一派ノ復辟畫策ハ事實ナルカ如ク當地諸人物ノ談片左ノ如シ

一、陳策曰リ「徐及段ノ復辟畫策ハ事實ナリ彼等ハ先ツ馮ヲ倒シ一先ツ徐ノ大總統就任ヲ見ルニ至リ然ル後徐ヨリ大政奉還ノ名義ヲ以テ宣統帝ノ復位ト云フ順序トナルヘシ」トテ復辟實現ニ際シテハ日本ノ態度ハ如何ナルヘキカニ就キ派帝ニ心配シ復辟ハ既定ノ事實ナルカ如ク唯其時ニ於ケル日本ノ態度ノミヲ顧慮スルノ狀態ナリキ

二、孫洪伊曰ク「段祺瑞ノ復辟ヲ實行セントシツツアルハ事實ナリ其表面ニ立テルハ徐世昌ニシテ段ハ其内幕ニアリ然レトモ今日復辟ヲナスモ到底成功スヘキモノニアラス永リモ一、二ヶ月ヲ支フルニ過キサルヘシ復辟實現ノ曉ハ無論武力ヲ以テ之ヲ討ツヘク長江三督軍モ恐ラク同様ノ行動ニ出ツヘシト」

三、姚文藻曰ク「徐、段ノ復辟ハ事實ナルヘシ鄭孝胥ノ女婿金邦平ハ段ノ呼召ニ依リ上京セシカ本日著京ノ筈ナリ其用向ハ段カ復辟決行ノ際陸榮廷ニ其賛同シ求ムル為鄭孝胥ヲ介シテ其旨ヲ傳ヘシメントスルニアリ故ニ是等ノ斡旋ニ就テハ五人全力ヲ盡ス考ナリ　又青島ニ於テ親王ノ許ニ段ヨリ復辟ニ賛同ヲ與ヘラレタキ旨申越シ来リシニ親王ハ當地同志ニ宛テ

REEL No. 1-0688
0048
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580830

若シ諮詢サレシニ就キ資成セラレテ差支ナカルベキ旨ヲ答ヘ置ケリト云フリ得意ノ模様アリタリ

要スルニ徐段派ノ復辟書策ハ最早疲フ餘地ナク決行ノ暁ハ當地民党カ考ヘ居ル程根底薄弱ナラサルモノ蓋シ南方ニ陸榮廷アリ甘粛ニ升允陳樹藩アリ各地ニハ段派各督軍アリテ互ヒ相呼應シテ起ツニ至ラハ寧ロカヘキ民党如何ニ跑哮スルモ之ニ對シ何等障碍ヲ與フル能ハサルヘシ但馮大帥ト徐総統ノ位置ニ就カハ長江一帯ノ中間勢力ハ北方ニ對抗スルニ至ルベント思考セラル

（支那ニ於ケル）

MT 1614 9 3963

REEL No. 1-0688

0049

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

附属書類添附

大正七年三月五日 電受 ! 管理務局 第一課

別紙添附 四後廻ス

支那内政

要目付ス

夢門

秘受4529 歸

機密第八四號

大正七年二月二十八日

在支那

臨時代理公使芳澤謙吉

外務省政務局長小幡酉吉殿

諜報者情報送付ノ件

別紙當館諜報者情報何等御參考迄

供貴覧候也

在支那日本公使館

MT 1614 9 3964

REEL No. 1-0688

0050

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580831

大正七年二月二十七日

孫境の談（孫八、奉天督軍）

復辟問題最近宣言の由来

復辟問題が最近盛に喧傳せらるゝに至りたる言に其淵源の創造元は張勳代理統なる
張代理統が次期の統に野心すると現地位を維持する
その意々心より徐世昌を非常競爭者の勢敵なると
一百万量が中傷策を運らし遂に最親信の張調辰
宣字詩をして特に復辟の宣言を放ち其中心人物
は徐世昌なると吹聰し更に又密使を湖北に流し前敵
北軍中ルて巧みに徐世昌が復辟を企て居るの宣言を
放ちしめたり

前敵の北軍派遣には使を流し事徐世昌の廣へ往き
其親信者に伝ち徐事悔に復辟に盡力せらるし
なれは我々は大に盡さゝるべからずと申述みなるなり徐世昌は
其奇怪なる言に驚ろかなる天同時に其第の出沙を
知りたに横横したるも世間に対し辯解の道なきを
愈何南に憂慮するに決しスロ保者を
此事と張作霖の出馬とは関係するやはり事に詳
なるも徐樹錚が都天に伝くや急電出兵
中央に告げずして奉州に帰しは張代理統に対する
該派の威嚇にて或は正式に北京に力を加えるを知る
から ず義豆の要求なるか其は復辟
に安ずるに過ぎなるか

REEL No. 1-0688
0051
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

21

580832

大正七年五月廿五日

電報

参謀総長宛　在　齋藤少將

五月二十三日午后八時発
二十四日午前六時五分着

参謀総長宛 第一課

支極秘 二七七

成田少佐一行ハ二十一日蘭州ニ安著ス其報ニ依レハ升允ハ青島出発以來上海、漢口ヲ経テ四川巫山ニ入リ次テ陝西省碑坪、城固、略陽ヲ経テ甘粛省ニ入リ秦州東南方ニ於テ「ウエルヌイ」回教ノ頭目タル「バゲンセウ」ヲ訪ヒ更ニ河州ニ於テ馬安良ヲ西寧ニ於テ馬麒ヲ訪ヒタル後平番中衛ヲ経テ五月五日寧夏ニ到著シ同地ニ於テ馬福祥ヲ説キ阿拉善ニ赴キ暫ク同地ニ滞在スル豫定ナリト聞ク所ニ依レハ三将軍ハ概ネ好意ヲ以テ升允ヲ迎ヘタリト云フ

工藤及佐田八郎ハ無事同氏ニ隨行シ来ルコト確實ナリ

陸軍

MT 1614 9 3968

MT 1614 9 3967

REEL No. 1-0688

0052

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580833

第3部

大臣 閣下
次官
政務局
通商
人事
會計
文書
參政官
副參政官

電信課長

七七二
(暗)

奉天發
本省著大正五年六月六日午後五時三五分
同九時三〇分

後藤外務大臣 田村係領事代理

第一六九号

六月五日電震春來翔ス其使命如何ハ張作霖モ未ダ語ラサル憚ル模様ナルガ近來當地方ニ於テ復辟論ヲ耳ニスル折柄ナルニ付彼ノ動靜注意中

左支ヘ使ヘ電報セリ。

MT 1614 9 3969

REEL No. 1-0688

0053

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

22

580834

電報 第一課

大正七年六月十七日接受 電報 第一課 陸軍 岡部

受信 11225號

宛 在

六月十四日午後三時四十五分 七時二十五分

参謀次長 青島参謀長

昨朝工藤ヲ伴ヒ甘粛地方ニ旅行セシ処今ハ当地ニ帰来ス工藤ハ尚天津ニ在リトノコトナレハ同人ノ帰青ヲ待チ詳細取調ノ上報告ス

MT 1614 9 3970

大正七年七月二日接受 電報 第一課 陸軍 岡部

受信 12179號

宛 在

六月二十九日午後九時五十五分 同三十日午前〇時五十分着

奉天 菊池大佐

總長

菊池祭第五三號

今二十九日張督軍ハ閑談ノ際復辟ニ関シ告テ曰ク支那ハ到底帝政ニ非サレハ統一シ難シ徐世昌ノ大總統當選ハ疑ナク且帝政ノ企圖ヲ有スルコトヲ明言シ又段祺瑞モ敢テ大反対ヲ為スモノニアラス只宣統帝カ餘リ幼年ナレヲ遺憾トスルモノナリ。日本ニシテ若シ復辟ヲ賛助セサレハ欧洲ノ戰局定マルノ後獨逸来リテ必ス之ヲ助成スヘシトテ目下暗中畫策セラレツツアル復辟ニ関スル本心ヲ暗示セリ

都督府濟

MT 1614 9 3971

大正七年七月五日 接受

電報 第一課

關東都督府陸軍參謀第四二四號

大正七年六月二十九日 關東都督府陸軍參謀部

第8門

秘受12406號

普通報（支那）第二八號

軍事

四三 騎兵第八旅編制

四四 吉林第六旅新設

時事

二四 龍濟光ト復辟意嚮

MT 1614 9 3972

REEL No. 1-0688

0055

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580835

支那軍事

四三、騎兵第八旅編制

目下編制中ノ混成第七旅完成セハ南方ニ出征セシメ之ヲ補充トシテ更ニ騎兵第八旅ヲ編制スルコトニ決定シ警備馬隊及各縣警察馬隊ヨリ選抜編制スルモノナリト云フ

（奉天警務署報）

四四、吉林第六旅新設

六月十六日哈爾賓ヨリ歸來セシ吉林混成第八旅第一團長誠明ノ義父某カ滿シタル處ニ據レハ今回露國側ノ勸誘ニ依リ吉林省ニ於テハ混成第六旅新設ノ計畫アリ爲ニ誠團長ハ一西日中ニ督軍ニ面談ノ爲哈爾賓ヨリ歸來シ吉林ニ赴クヘシト而シテ第四旅長高士儁及露國側ニ於テハ誠明ヲ該旅長ニ推薦セントノコトナルカ誠明ハ客年第五旅新設ノ際同旅長ニ昇進ノ筈ナリシモ金圓ヲ提出スルヲ欲セサリシ爲遂ニ選ニ漏レタリトノコトナルヲ以テ今回モ如何カト危ム者アリト云フ

（長春警署報）

MT 1614 9 3973

MT 1614 9 3974

REEL No. 1-0688

0057

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580836

支那時事

二四 龍濟光ト復辟意嚮

（菊池大佐報）

今二十六日張督軍ト閉談ノ機會ニ於テ彼ハ龍濟光ノ人格ヲ賞揚シテ曰ク彼ハ陸榮廷ト親族ノ關係ニアリ乍ラ主義ノ爲斷乎トシテ陸等ニ對抗セル由ヲ說キ進テ彼ノ意嚮ハ全然復辟ニアルコトヲ語リ出テ一轉シテ我明治天皇今尚御在世アラセラルレハ豈支那ノ共和ヲ容認セラレンヤ日本ト雖殷鑑遠カラス隣國ニ共和アルコトハ欣シテ日本ノ爲ニ喜フヘキコトニアラサルヘシ歐洲ノ戰局平和ヲ告クルニ至ラハ

1614 9 3975

獨逸ハ心ス來テ我國ノ復辟ヲ慫慂セントヲ深ク帝政ニ焦シ宣統帝ノ尚幼少ニシテ十三才ニ過キサルヲ恨ミ夫レトナク彼カ帝政ニ意ノ存スル所ヲ示セリ

町野少佐ク帝政ニ就テハ諸督軍中反對者無カルヘキヤヲ反問セシニ督軍ハ北方諸督軍中其ノ眞意ヲ叩ケハ復辟ニ反對ノ者アルコトナシ然レトモ南方平定後ニアラサレハ到底目的ヲ遂ケ難シト答ヘタリ以テ督軍カ抱懷スル所ヲ察スルニ足ル

1614 9 3976

REEL No. 1-0688

0058

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580837

本書發送先

關東都督府民政長官　同警務總長　關東憲兵隊長
參謀次長　陸軍次官　外務次官
朝鮮總督附武官　朝鮮駐劄軍參謀長　同憲兵隊司令官
支那公使館附武官　坂西少將　支那駐屯軍司令官
青島守備軍參謀長　中支那派遣隊司令官　上海駐在武官
台灣總督府陸軍參謀長　獨立守備隊司令官　第七師團參謀長
南滿洲鐵道株式會社理事長

第8門

公文12513號

大正七年七月八日　接受　政務局

陸軍部參謀第四三五號

大正七年七月二日　關東都督府陸軍參謀部

普通報（支那）第二九號

二五　時事

張督軍ノ復辟ニ關スル密話

復辟

REEL No. 1-0688

0059

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580838

支那時事

三五張督軍ノ復辟ニ關スル密話（蘇州大佐報）

六月二十九日張督軍ハ小官等ト三名閑談ノ機會ヲ得タルカ談ハ歐洲戰報ヨリ遂ニ復辟論ニ入レリ張督軍ハ殆ト獨逸ノ必勝ヲ期スルモノ如ク最近歐洲ヨリ歸来セル一領事ノ談ナリトテ獨逸ノ何等物資ニ窮スルコトナク殊ニ兵器ニ至リテハ露國ノ兵器ヲ改鑄改造シツツアルコト聯合國側ノ到底攻擊ニ轉スルノ勇氣ナク米兵ノ贊澤ニシテ徒ニ多數ヲ恃ムニ過キサルコト等ヲ述ヘ支那ハ速ニ南北ヲ統一シテ日

本ト相提携スルニ非サレハ不可ナリ（獨逸ノ大勝ヲ以テ歐洲戰局ヲ終ラハ豈日本ト提携スルコトヲ計ランヤ）而シテ復辟ニ非サレハ到底日支提携ノ實ヲ擧クルコト能ハス日本ニシテ若シモ之ヲ贊助セスンハ戰後獨逸ハ必ス未リテ復辟ヲ慫慂スヘシト依テ小官ハ復辟ハ大ニ可ナリ徐世昌モ夙ニ此ノ志アリト聞ク然レトモ徐ノ大總統當選ハ期待シ得ヘキヤト苦笑ノ面持ニテ問ヒシニ答ヘテ曰ク徐ノ當選ハ疑ナシ而シテ彼ハ勿論復辟ヲ喜フモノナリト明言セリ因テ更ニ段祺瑞ノ反對アルヘキヲ反問セシ

REEL No. 1-0688
0060
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ニ段トテ決シテ反對スルモノニアラス彼ハ宣統帝ノ尚幼少ニシテ事ニ當リ難キヲ遺憾トスルニ過キストテ敢テ其ノ大反對ニ遭ハサルヘキヲ暗示セリ、數日前張督軍ト閑談セシトキ談偶〻復辟ニ躅レシ彼ハ單ニ宣統帝ノ尚十三才ニ過キサルヲ云ヒシコトアリシカ今ニ及テ棄スルニ彼等ノ間ニハ夙ニ復辟案ノ講セラルル所アリテ段祺瑞ノ意見ハ宣統帝ノ年少ナルヲ遺憾トスルニアリシヲ察スルニ足ル之ヲ棄スルニ張督軍、徐樹錚等ノ大計畫ハ歐戰ノ終局ヲ待ツテ獨逸ヲ背景トシテ帝政ヲ復興

セントスルニアルハ明カニシテ徐世昌ヲ大總統ニ推シ機ヲ見テ王政復古ヲ提唱スヘキヤ必セリ

REEL No. 1-0688
0061
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580840

本書發送先

關東都督府民政長官　同　警務總長　關東憲兵隊長

參謀次長　陸軍次官　外務次官

朝鮮總督府武官　朝鮮駐劄軍參謀長　同　憲兵隊司令官

支那公使館附武官　坂西少將　支那駐屯軍司令官

青島守備軍參謀長　中支那派遣隊司令官　上海駐在武官

台灣總督府陸軍參謀長　獨立守備隊司令官　第七師團參謀長

南滿洲鐵道株式會社理事長

1614\9　3983

MT

REEL No. 1-0688

0062

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

23
580841
第3門
受12843号

大正七年七月十三日接受

電報

參謀總長宛

菊発第五十七號

七月十一日午後五時発信
午後七時着

在奉天 菊池 佐

今八日督軍ト密談ノ際支那ノ統一ハ復辟ニアラサレ
到底成就シ難キハ勿論ナルカ先立ツモノハ金ナルカ須ク
之カ準備ヲ講セサルヘカラスト說キシニ督軍ハ五千万円ハ
準備シアリ尚皇室ニ三倉ノ金アリトテ樂觀的ニ語リ且
曰ク先日モ領事館員カ此事ヲ尋ネタルカ今ニ於テ本企
圖ノ世間ニ暴露スルハ甚タ遺憾ナリ選擧終了後
ニアラサレハ行フ能ハス日本若シ此擧ヲ贊助セサレハ獨
ハ先ツ露ノ復辟ヲ爲シ續テ支那ノ復辟ヲ斷行スヘ
シトテ頗ル日本ノ意向ヲ氣遣ヒツツアルヲ見タリ此計畫
カ龍濟光趙爾巽徐世昌其他重要ナル人物間ニ密々大
ナル進行ヲ爲シツツアルハ殆ント疑ナシ

都督濟

MT 1614 9 3985
MT 1614 9 3984
REEL No. 1-0688
0063
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580842

陸軍

大正七年七月十六日接受　第一課

電報

七月十二日午前九時二十五分
午後二時七分

宛　在　関東参謀長

参謀次長

関電一三一

奉天満鉄報。周自齊十一日夜来奉、張督軍ト
會見、十二日朝長春ニ向ヘリ復辟ノ噂アル今日其行
動ハ注目ヲ要ス目下探査中

北京、天津、青島中支宛

MT 1614 9 3986

REEL No. 1-0688

0064

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

24

580843

大臣
次官
政務局
通商局
人事
會計
文書
參政官
副參政官
電信課長

一九
一二
暗

上海發
本省着大正七年八月廿八日午前九時四分

後藤外務大臣　　有吉領事

第一三〇番

近来張作霖ノ復辟運動ハ一部ニ傳ヘラレツツアルヲ以テ林出ヲ当地宗社党ノ主要人物鄭孝胥姚文藻等ニ就キ探ラシメタル所ヲ綜合スレバ今回ノ計畫ハ直接関係ニ居ラザルノ同人等ニ於テハ如ク迄モ充分ニ其真相ヲ知ハコト能ハザルモ數日前青島ノ恭親王ヨリ

書状ヲ以テ同人等ニ対シ近々張作霖ガ復辟ヲ実行スル模様ナル旨ヲ付此際同親王及上海同志ノ取ルベキ態度ニ付意見ヲ求メ来レルガ右両人ハ李経邁ノ連名ヲ以テ今回ノ事ハ最初ヨリ自分等ハ何等関係無キノミナラズ其成功ニ疑ヒヲ抱ケバ此際自寛形勢ヲ観望シ若シ失敗ニ終ラバ更ニ自力ヲ以テ素志ノ貫徹ヲ図ルヲ可ト入ハ旨ノ回答ヲ本月二十七日附ヲ以テ發送セル趣ナリトノ事ニテ又ヲ數日前右地沈

REEL No. 1-0688
0065
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

士培ヨリ徐世昌ノ依頼ナリトテ同人等ノ出
京ヲ求メ来リシモ人ヲシテノ招キニハ應じ
難キ旨ヲ以テ辞退セル所次士培ノミハ一
昨日(二十六日)午後上京シタル模様ナリ
トノ事ニテ康有為同様保世昌ノ招キニ
應ジタルモノト思考セラルトシ天津ニ於テ
張作霖ガ張勲ニ接近セント努メタル
事實ヲ挙ケテ張ハ更ニ張勲ヲ釋放
シテ徐州ニ赴ウシメ安武軍ヲ其手中ニ
收メシメテ後南京ヲ把有セシムベク南北

相対峙シテ立ツハ先ニ南北京ハ一時維
持スルコトヲ得ベク張勲復辟ノ際ニ比シ
北方督軍ガ個々分離シ殺ノ勢力昔日
ノ如クナラザルヲ見テ今日ハ最(後)機會ナ
リト観察シ地方ニ生ジテハ大々鎮撫ノ途
アルベク南方ハ陸榮廷固ヨリ復辟説ナレ
ハ(續ク)

REEL No. 1-0688
0066
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580845

電信課長 晴

大臣 了

次官

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

上海 大正八年八月廿四日着 廿九日着

後藤外務大臣 肩書偽称事

第一二〇號 續キ

同人ニテ相彊ノ得シト推察スルノ成否ハ一ニ政府ノ良否ニ存スルナシ之カ実行ノ時期ハ旧暦八月一日頃ナルヘシト断言シ居リタル趣ナリ特又孫烈伊ハ本件ニ関シテ曰タ張作霖ノ復辟実行ハ遅クトモ一ヶ月以内ニハ事実トシテ現ハルヘキ今回ハ段祺瑞ノ勢力昔日ノ如クナラス北方督

軍ノ兵力四散セルヲ以テ張作霖ニ對シテ反抗スルモノナク為メニ一時ハ成功スヘキモ結局失敗ニ終ルヘシ蓋シ從来復辟ハ清朝ノ親族又ハ満洲旗人ノ手ニ依テ行ハレタル常ニ權勢ヲ得ントスル漢人野心家ノ運動ニ基キ而シテ彼等ハ復辟ニ失敗スルトモ民國ノ官吏トシテ相當ノ地位權勢ヲ維持シ得ヘキモノナルヲ以テ熱心且徹底的ナラス今次張作霖ノ復辟運動モ何レ北方陸軍中ヨリ反對右ヲ生ス

REEL No. 1-0688

0067

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

支那事変関係事変ノ件

ヘタ其際各地精軍ノ態度コソ見物ナルベシトナレ居リタル由ナリ尚彼ハ南北戰線ノ状況ヲ観測シテ其尚敵將士ノ戰意ナキハ實ニ意想外ナリトシ呉佩孚カ魯和ノ電報ヲ中央ニ發シタルハ部下ノ兵全地戰意ナク如何トモ致シ難キ結果ニ外ナラズ彼ハ數通ノ電報ヲ用意シ既ニ其一部ヲ各政ニ發シタルカ右全部ヲ發電シ終ルヤ中央政府ノ命令如何ヲ顧慮セス一ケ月以内ニハ新型撤兵

ヲ實行スル決心ナルヤニ確聞スト云ヒ士卒ノ戰意ナキハ南軍モ亦同様ニテ譚浩明モ亦呉佩孚ト同一ノ行動ニ出テ廣東政府ノ命令如何ニ不拘第一線ヨリ撤兵ヲ行フコトニ決シタリ　双方共到底戰鬪ヲ以テ時局ヲ決スル等ノ望ナシト新言シ居リタル趣ナリ

此点ニ関シ南京ヘ電報シ南京ヘ郵報セリ

REEL No. 1-0688
0068
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

附屬書類添附

大正七年九月四日 發 第一課

關東都督府陸軍參謀部

大正七年八月三十日 關東都督府陸軍參謀部

580847

受15456號

第ノ門

普通報（支那）第三七號

雜報

五、復辟ニ關スル三多等ノ口吻

MT. 1614 9 3995

REEL No. 1-0688

0069

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

支那雜報

五、復辟ニ關スル三多等ノ口吻（機密閣報）

盛京副都統三多ト最親ナル當地某紳士カ八月十八日頃三多ノ息瑞臣（三多八月三日上京ス未ダ帰奉セス）ヲ訪ヒ閑談シタル一節左ノ如シ

瑞ハ某ニ問フテ曰ク支那及露國ヲ隣友トセル貴國ハ隣國皆共和政體トナレル爲貴國國民ノ思想上悪感化ヲ與フルカ如キヨト、ナキヤ、某ハ吾人ノ着ヲ以テスレハ獘國ハ三千年来皇室中心主義ニシテ其ノ根蔕ハ隣國ノ共和ニ因テ動揺ヲ來スカ如キコト断シテ無シト信スト答ヘタルニ瑞ハ露帝國主義ヲ一變シテ現今ノ非境ニ陷レ

リ我國亦共和ノ聲ヲ擧ケテ將ニセ年國内ノ騷擾一日トシテ絶ヘタルコトナク人民塗炭ニ苦シム若カス再帝政ニ復歸セムニハト語リ更ニ極秘ヲ乞フト前提シテ曰ク獘國若シ復辟ヲ實行スルトセハ貴國ハ之ニ反對セラルナランカ或ハ全然不干渉ナランカ將又援助ヲ與ヘラルナランカト尋ネ且又川島浪花氏ノ現住所ハ何處ナリヤ人ヲ遣ハサントセシモ目下東京ニハ在ラサルト聞ク知ラルルナラハ教示セラレタシ云々、

亦嘗テセ月下旬頃三多カ前掲ノ某紳士ニ語リシ所ニ依レハ支那ハ到底共和ヲ以テ

REEL No. 1-0688
0070
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580849

收拾スル能ハス余無カニシテ何ソ爲ス能ハスカメテ政治ノ圈ニ入ルヲ避ケツツアルモ憂國ノ士出テテ一大改革ヲ行フノ機ヲ待ツモノナリ支那ハ日本ノカヲ籍リテ少クモ東三省及蒙古ヲ合セル帝國ヲ作ルノ機必シモ到來セサルニアラサルヘシ我清朝ノ遺臣ニシテ尚端群王、那桐等ノ士アリ吾人聊カ意ヲ强ウスルニ足ル云々ト聊カ慷慨的口吻ヲ洩ラシタリト

本書發送先

關東都督府民政長官　同警務總長　關東憲兵隊長
旅順要港部司令官　旅順要塞司令官　南滿鐵道株式會社理事長
參謀總長　陸軍次官　外務次官
朝鮮總督府武官　朝鮮軍參謀長　同憲兵隊司令官
支那公使館附武官　坂西少將　支那駐屯軍司令官
青島守備軍參謀長　中支那派遣隊司令官　上海駐在武官
台灣總督府陸軍參謀長　獨立守備隊司令官　哈爾賓兵站司令官
長春線區司令官　長春兵站司令官

REEL No. 1-0688
0071
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第3門

580850

電受 9670號

機密第七九號

大正八年八月五日

在上海

總領事 有吉明

外務大臣子爵内田康哉殿

復辟運動ニ関スル件

当地居住復辟派ノ一人タル姚文深ノ林出ニ語ル所ニ據レハ七月末
頃ト張勲ノ參謀長タリシ惲毓昌ト陸軍少將張忠ノ両人来
滬シ当地復辟同志ノ間ヲ遊説シテ曰ク支那ノ政局ハ殆ンド行詰
リノ情態ニシテ若シ此儘ニ推移セハ南北ノ統一ノ如キ到底絶望ノ外
ナキヲ以テ徐世昌ハ此際張作霖ニ張勲等ト相図リ復辟ヲ冀行ス

在上海日本總領事館

ル決心ナレハ上海ノ同志ニ於テモ此挙ニ賛成シ主トシテ南方陸榮
廷トノ連絡ニ努力セラレタキ旨ヲ以テセルニ依リ鄭孝胥、李経邁
李梅庵、沈子培及自分等ハ集合シ上海在住ノ有力者ニ討議セハ妥当ナル
言ヲ所等ヲ探究スルニ段祺瑞、徐樹錚等ノ態度未タ不明
ナルノミナラス在青島泰親王ニ先ツ同地
劉廷琛早クモ本件ニ関シ分先ヲ派シタル模様アル事ヲ
モ承知セル結果右ハ察スルニ劉廷琛ノ討画ナルヘシトシ結局
両人ノ申出デヲ拒絶シ当地同志ニ於テハ此挙ニ參與セサルコトニ
決セシ為メ両人ハ空シク帰スルニ至リシト事ニ有之尚ホ曩ニ張
勲ノ事ヲ擧クルヤ上海ニ於ケル復辟派ハ何レモ日本ノ関係密
接ナルヲ以テ之等ト事ヲ共ニセハ遂ニ權勢ヲ奪ハレシコトヲ恐レ劉
廷琛ヲシテ事ニ当リ上海ノ一派ヲ切度外視シ遂ニ失敗ヲ招ケル
モノナリトシ上海ノ一派ハ張勲失敗ノ責ヲ多ク劉ニ帰シ尓来劉ト絶

MT 1614 9 4000
MT 1614 9 4001

REEL No. 1-0688
0072
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580851

交ル事ヨリ恭親王モ亦此間ノ事情ヲ知リ劉ヲ遠ケ專ラ上海ノ同志ト打合セヲ為ントテアリ又鄭孝胥ト陸榮廷トハ往来充分ニ解アリ陸ハ常ニ鄭ノ言ヲ耳ニ傾ケ鄭ノ一子ヲ廣西ノ財政廳長ニ任命スル等両者ノ間ニ交通ヲ保ケツヽアリ往テ陸ヲ動セント欲セハ先ツ鄭ヲ動カサヽルヘカラサル関係ニ在ル為メニ辺ノ事情ニ基ケルモノナル旨内話致居タル趣ニ有之右ハ元ヨリ為メニスル所アラントスル一部ノ計画ニ止リ此際彼時ノ計画スル如キ事アルヘキトハ思料セラレサルモ彼時派ノ間ニ此種運動ノ行ハレツヽアルコトハ事実ト存セラレ為ニ何等御参考迄ニ右及報告候

敬具

在上海日本總領事館

MT 1614 9 4002

REEL No. 1-0688

0073

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580852

電信課長

大臣 閣下

次官

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

副參政官

第三三號

一六八七

後藤外務大臣 瀬上欽事代理

丸江義大臣ヨリ省令ニ付九月廿五日ヨリ
康有爲ハ八月末ヨリ密カニ上海ヨリ來リ避
暑ト称シテ廬山ニ赴キ居リ九月
五日ヨリ張之洞ニ上海ニ向
テ廬山ヲ出発ス本書信ニ載セ帰ル
中ニハ上海吳鎮守使楊財
政廳長其他官紳トノ往來繁カリシ為
外間ニテハ事件關聯セルモノヽ如ク

噂セラレ、當代方帰ル中官紳ハ只人
ニ対シ歓待ノ極メナリ
事実公使ハ特別ナリ

REEL No. 1-0688
0074
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580853

受信15770號

大正七年九月十日 接受

管 政務局 第一課

九月九日

（陸電受）

電報

總長宛 在 中支那派遣隊司令官

九月七日午後十時〇分發
八日午後七時二分著

中支情報第二五一號

九江來電。康有爲ハ八月下旬廬山ニ滯在シアリシカ九月二日密カニ下山シ同五日上海ニ向ヘリ

陸軍

MT 1614 9 4005

REEL No. 1-0688

0075

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580854

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
文書
參政官
副參政官
電信課長

政務第一課

奉天發 大正八年一月十五日着 一月十五日

第四九號

内田外務大臣 赤塚總領事

二月十三日夜滿鉄鎌田公所ニ於テ長ノ極秘トシテ
本月十三日在洮南烏泰王ヨリ張巡閲使宛電報ニ依レハ貴下札賚特、札薩克、
圖什業圖、海拉爾、翁牛特各王ハ「セミヨ」
ノ軍中ノ日本浪人ト気脈ヲ通シ黄王
ヲ推シ各旗協議ノ上蒙古兵

MT 1614 9 4006

ヲ以テ齊々哈尔ヲ中心トシ復辟ヲ計ラン
ト企圖シツヽアリ是ヲ先キニ人ヲ旅順ニ派
シ親王ニ謁シ旗幟ノ交換ヲ為シ尚ホ軍
器及兵餉ハ之ヲ日本ニ仰ノコトヽシ現ニ
砲十八門ヲ準備シ居ル云々
之カ為ノ張巡閲使ハ貴下在京ノ孫烈
臣及黒龍江鮑督軍ニ對シ事實有無
ハ如何中ニ在ル筆記書類官場ニテハ
後付書進行シ連レ日本ヲ大都隊ノ兵
ヲ出動セシメ東部西比利亞方面ニ一勢ノ

MT 1614 9 4007

REEL No. 1-0688
0076
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

張ノ来電ニ對抗セントスルノ意図ニアラザルカト揣摩臆測シ居ル
鳥泰ハ民国元年洮南府ニ於テ騒乱ヲ起シ其後北京政府ノ顧問官トシテ北京ニ休好ノ抑留セラレ近来改悛ノ情現ハレタルヲ認メ約一ヶ月前洮南ニ帰省ヲ許可セラレ銀作霖等ニ懐柔セラレ居ルモノニシテ右ノ電報ハ張トノ関係ニ顧ミ又其頗ル具体的ナルニ徴シ全然無根ノ虚報ナリトモ思ハレス果シテ或ル事実アリトセバ

其陽帝国政府ニ容易ナラサル累ヲ及ボス重大事件ト思考セラルヽニ付至急鄭家屯出張村副領事ヲ洮南ニ出張セシメ事実ノ真相ヲ調査スルコト必要ナリト思考ス尚ホ在支公使若大臣宛電報第一七〇號ニ在リ第一七部日本増兵云々ノ報道ハ或ハ奉陰謀ニ関係シテ出テタルモノニアラズヤトモ推察セラル
北京、鄭家屯ヘ電報セリ

REEL No. 1-0688
0077
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

電信課長

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
文書
參政官
副參政官

暗

内田外務大臣

第五号

在奉天領事発電報

第一号

貴電第三号ニ関シ

北京電報第二十六号ニ依リ十六日午後二時

岩村領事代理

札薩克圖烏泰及圖什業圖王等目下ノ境遇ト各蒙古王ノ兵力微弱ナル現情ニ鑑ミ右報道ハ疑ハシク月烏泰王ハ一月十六日洮南ヲ發シ同地ノ西北百七十支那里ゲンニハオニ滞在シ

580856

居レル由ナレハ奉天官ヲ直チニ洮南ニ赴クモ事実ノ真相ヲ確カムルノ見込ナク又「ゲゲン」ニヤオ」ヘ赴クニハ當地ヨリ一週間以上ヲ要スルニ付先ツ齊々哈爾及旅順方面ニテ市内偵ノ上ヨウヨウニテモ其筋ヲ辿メラレシ上出張致度旨ニテ右市取調ノ上結果電報アリタシ公使ヘ電報セリ

（四年衛發大正六年二月十六日）

REEL No. 1-0688
0078
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

電信課長

第一課

奉天

来翰與信事

内田外務大臣

アニ六 左ノ通在支公使ヨリ電報シタルニ付別紙ハ内閣ヘ送付ス

先ニ金子文書郵送セラル

外務省

送第一三四五號

八月十六日

MT 1614 9 4012

REEL No. 1-0688

0079

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580857

次官

政務局長

電信課長

第一課

在支 小幡公使

第二八号

内田外務大臣

来報ニ依レハ出淵書記官帰電セル旨及
茲本大臣ニ於テ第四九号来電ニ
関シ本件ハ当方ノ全然承知セ
ザル所ナリトノ事[illegible]ノ真相
ニ関シ疑ヒ我官憲ノ一挙一
動ハ特ニ世人ノ注意ヲ惹クノ折
柄日置事件ノ通リ其際小幡
田村ニ関係[illegible]モ
限リ貴官ト外交使臣
代理トノ会見ニ於テ種々ノ捏造
説ヲ伝播セシムルト同様ノ
不利ナル結果ヲ見ルヤモ計ラ

MT 1614 9 4014

MT 1614 9 4013

REEL No. 1-0688
0080
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580858

離ラル既シ本件ハ既作廃ヨリ北京ニモ送ラルタルトノコトナレハ又々誘報ラ信シ排日ノ機ヲ利用セントスルコトナキヤ懸念シ特ニ注意スト共ニ其ノ筋ニ対シ厳重ニ消息ヲ過当ニ公ヘ口外厳禁官ヨリ通報ス

友誼的ニ概要ヲ内報

報道ノ出處及「セレヨノフ」事件ハ日本人ニ対シ敵愾心ヲ挑発シ排貨運動ヲ惹起スルノ虞アリ

ニテ共ニ日ノ面目ヲ傷ケ注意ス

外務省

REEL No. 1-0688

0081

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580859

大臣
次官
政務
通商
人事
會計
文書
參政官
副參政官
電信課長

(暗)
四平街派遣
本有為
第七號
内田外務大臣 鄭家屯 岩村陸軍代理
本震發電第六號
第二號
往電第一號ニ關シ(脱)所ニ依レバ
最近張賢軍ノ部下ガ黑龍江省
ヨリ奉天ヘ赴ク途中洮南ヲ經
テ奉地ニ來リタル際某露國人ハ
日本兵北滿撤退後黑龍江ノ支

MT 1614 9 4017

那軍隊ヲ編制シ奉親王ヲ推
シテ後帝ヲ謀ラントスル計畫
アル旨アル由傳リタルガ假令ハ
貴下ノ情合張ソドホの能ナレバ此
風説ハ疑ハシト云ヘリ本人ハ之ニ
賛シ蒙古王ガ之ニ加盟スル旨ナ
カリシヤト問ヒタルニ蒙古王ノ
無力ナル到底斯カル運動ヲ爲スベシ
トモ思ハレズト云ヘリタリ御参考迄ニ
申進ズ(大臣ヘ電報ヤリ)

MT. 1614 9 4018

REEL No. 1-0688
0082
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580860

機密02687號

大正八年三月十日 接受 駐支公使館 第一課

機密送第七号

大正八年三月四日

在奉天 鄭家屯
領事代理副領事 岩村成允

外務大臣子爵内田康哉殿

北満ニ於ケル請朝復辟運動ニ関スル件

本件ニ関シテハ屢次電報ヲ以テ及報告置ク處右電報説明旁其後内偵ノ結果ヲ尤ニ記載致候

先日来洮昌道尹都林布及遼源縣知事趙延宸ノ小官ニ内話スル所ヲ綜合スルニ二月十日頃同官等ハ鄭家屯停車場ニ於テ奉天督軍公署諮議官趙

在奉天總領事館鄭家屯分館

子元ニ遭遇シタルニ付其動静ヲ問ヒタルニ「自分ハ督軍ノ命ニ依リ調査事務ノ為メ洮南ニ赴キ沸安中最蒙匪中ニ活動セシ蒙古人黒龍江省ヨリ来リ最ニ蒙軍ノ大頭目タリシ第二十九師營長白壽(所謂蒙匪ノ白將軍)及札薩克圖王烏泰等ヲ訪問シ目下黒龍江省ニ於テハ旅順ニ在ル肅親王ヲ推シテ清朝ノ復辟ヲ計畫シ露國軍人ノ援助ヲ得又同者ノ支那軍隊モ該運動ニ加担スルノ内約アリ同者有力者富明阿モ亦之ニ賛成セル趣ヲ以テ元蒙軍関係者カ本運動ニ加盟セシコトヲ勸誘セルモ白營長ハ之ヲ謝絶シ右ノ顛末ヲ旅長耿玉田ニ告ケメルヲ以テ旅長ヨリ直ニ張督軍ニ電報ヲ發シタルカ自分ハ右事実ヲ督軍ヘ報告ノ為メ急遽洮南ヲ出發シ

REEL No. 1-0688
0083
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

過刻鄭家屯ニ着シ之ヨリ汽車ニテ奉天ニ向フ豫定ナリト語リタルモ其後本件ニ関シテハ何等ノ情報ニ接セストノ趣ナリシカ其後小官ハ数日間奉天ニ出張シ二十三日帰任シタルニ都道尹ハ二十五日未明鄭家屯ヲ出発シ洮南ニ赴ク筈ナル由聞知シタルニ付二十四日同道尹ヲ訪問シタルニ道尹ノ旅行ハ全ク管内巡視ニシテ本件ニ関係ナキコト判明シタルヲ以テ更ニ本件ニ談及シ洮南ニ於テ烏泰王及白營長ニ面會ノ際ハ目下ノ場合再ヒ事ヲ起スノ不可ナル旨注意セラレ度シト述ヘタルニ道尹ハ之ヲ承諾シ今回白等ヨリ事ノ顛末ヲ報告セン程ナレハ該運動ニ加担セサルハ明カナルモ尚念ノ為メ篤ト彼等ニ注意スヘシト答ヘ候

在奉天總領事館鄭家屯分館

然ルニ昨三日當地敬言警務顧問坂本大尉ノ小官ニ語ル所ニ依レハ同大尉ハ偶然蒙古達賴罕王府管旗副章京韓某ニ面會シタルニ付種々蒙古ノ状勢ヲ尋ネタルニ同人ハ目下蒙古各地ニ復辟運動勃興セル由ヲ告ケ且ツ曩ニ蒙匪ノ頭目ニシテ奉天省ニ降伏シ官位ヲ得後免職セラレタル巴布札布ノ部下福外阿ナル者北満ニ於テ露國軍人ト気脈ヲ通シ請帝復辟ヲ計畫シ隙暦客年十二月十三日陽暦一月中旬人ヲ蒙古各地ニ派シ加盟ヲ勧誘シタル帰化城ノ色格圖喇嘛之ニ賛成シ兵ヲ送リ又札賚特旗陶什唐ノ部下省生阿ナル者ハ兵四百同旗下白音色冷ナル者ハ兵二百ヲ引率シテ出発シ又翁牛特旗ヨリモ馬中阿ナル者ニ兵一百ヲ引率出発セシメ

REEL No. 1-0688
0084
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

阿尔科尔沁旗下吐什拉氣廟ノ轉世喇嘛ハ兵二三百
土謝図王府、達賴罕王府ヨリモ亦兵二百ヲ派シ目下各
旗ノ蒙古兵合計約四五千人ハ海拉尔附近ノ山中ニ至リ
テ時機ヲ窺ヒ居リ前海拉尔副都統ノ子福祥ナル者
之ヲ統率シ露國側ヨリ野砲二三十門機関砲数門
ヲ得日本人ノ有力者某及前ニ蒙匪ノ乱ニ参加セル
多数日本人之ニ加ハレルカ解氷期ヲ俟チ齊々哈尔ヲ
占領シ事ヲ挙ケントスル計畫ナリト語レリトノ趣ナルカ
右韓某カ初メテ面會シタル坂本大尉ニ斯クノ如キ談
話ヲ為シタルハ稍疑ハシキ廉アルモ右報道ハ餘リニ
具体的ニシテ全然虚構ノ事実ナリトモ思ハレサルニ付
更ニ小官ヨリ夫レトナク支那官憲側ヲ内偵シタルニ旅
長石得山及趙知事等ハ右韓某談話ノ次第ヲ義

在奉天總領事館鄭家屯分館

知セサルカ如ク且ツ韓某ハ達賴罕王府ノ官吏ニアラスシテ
支那側ノ注意人物ト認メラレ又石旅長ハ張督軍ヨリ
「本件ノ真相内偵ノ為メ二名ノ部下ヲ黑龍江省ヘ派遣
シタルコト及ヒ日本人カ此運動ニ関係セルモノアルモ日本政
府ハ決シテ之ヲ援助セサル方針ナルコト」ヲ吳師長ヘ
通信アリタル由聞知シ居レル趣ニ有之候就テハ右韓某
ハ或ハ復辟運動者ノ一人ニシテ其所言ハ甚タ誇大ニ
失スルニアラスヤト疑ハレ候
尚ホ前年巴布札布軍中ニ至リテ蒙古各地ニ轉戰シタ
ル薄益三ノ甥白龍事謙宇次ハ昨年末双山縣大
末農場監督トシテ當地ニ至住中ナルカ数日前来館
ノ際小官ニ語ル所ニ依レハ目下蒙軍ノ殘黨約二三千人
ハ満洲里ノ西「ダウリヤ」驛附近ノ山中ニ至リテ當時

REEL No. 1-0688
0085
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

之ニ関係セル日本浪人亦之ニ参加シ居ル由聞知セリト
之ヲ要スルニ前記ノ報道ヲ綜合スレハ今回ノ復辟運
動ハ到底成効ノ見込ナシ又右関係者モ成効覚束ナ
キコトヲ自覚シナカラ之ニ参加セルモノアルカ如クニシテ全然
要根ノ風説ニアラサルコトヲ存セラレ候得共当地ニ於テハ事
実ノ真相ヲ分明致兼候間関係地方ニ於テ補
調相成候様致度此段不取敢及報告候敬具

追而付先

在支那公使
在奉天総領事
在満洲里佐々木副領事
在ハルビン事務代理

在奉天総領事館鄭家屯分館

REEL No. 1-0688
0086
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580864
機密02688號

文書課長 文書課長之印
大正八年四月 十日接受

大正八年三月十日 接受 第一課 政務局

機密送第八号

大正八年三月四日

在鄭家屯
領事代理副領事 山名村成光

外務大臣子爵内田康哉殿

機密合送第一四七號 大正八年四月拾壹日發送濟

復辟運動ニ関係ノ嫌疑アル本邦人ノ行動ニ関スル件

北満ニ於ケル清朝復辟運動ノ件ニ関シテハ本日付機密第一號ヲ以テ及報告候處小官ノ推察スル所ニ依レハ昨年夏頃既ニ復辟運動ノ再挙ヲ目ラントスル者アリテ本邦人モ之ニ参加セル者ノ如ク認メラレ候

在奉天總領事館鄭家屯分館

君ニ就テハ客年八月十二日頃貴族院議員天木伯爵夫人ノ弟ニシテ宇和島伊達侯爵ノ親戚伊達男爵ノ弟ニ當ル伊達順之助（二十六七歳）及陸軍省委托外國語学校蒙古語練習生陸軍騎兵中尉[illegible]氏ハ夏期休暇ヲ利用シ蒙古内地見学ノ為メ私費ニテ旅行スル趣ヲ以テ當地ニ来リ支那軍憲ヲ訪問シ土産物等ヲ贈リ交際ヲ結ヒ支那側モ相当之ヲ待遇シタルカ伊達及奥平両氏ハ当地ニ数日滞在ノ上更ニ蒙古奥地ニ入リ草原完園王府朝陽縣等ヲ旅行シ更ニ當地ヲ経東京ニ帰リタルニ本年一月一日小官ハ突然当地ニ於テ伊達氏ニ遭遇シ同氏カ当地ニ数日間滞在スルコトヲ知リ其目的不明ナリシ為メ精鋭ヲ起シ種々内偵ノ結果右伊達及奥平両氏前年蒙

REEL No. 1-0688
0087
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580865

匪関係者ニシテ客夏ノ蒙古旅行中当地ヲ軍人及蒙古
達類聚王府等唯克圖王府ノ者カ曾ニ復辟運
動ノ聯絡ヲ試ミントシタル形迹アリ又一月初伊達氏ノ当地ニ
来リタルハ日常ニ留意中ノ巴布札布ノ子二人ヲ洮南方面
ニ送ル為メ当地マテ同伴シ来リ
伊達氏ハ尚ホ満洲ニ在リテ最近ノ運動ニ参加シ居ルモノ
如ク又奥平中尉モ目下東京ニ在ラスシテ或ハ満洲ニ渡
来シ居ルニハアラスヤト察セラレ候
又前年ノ蒙匪事件ニ関係セシ独備隊軍工兵中尉
入江穣矩ハ奉天森山守次氏ノ経営セル三国公司社
員トシテ昨年来鄭家屯ニ滞在シ蒙古天然書達採
集ノ権利獲得ヲ運動シ過般四平街ニ於ケル三国公司
曹達精製工場落成セルヲ以テ其主任トナリ居ル由ナル

在奉天総領事館鄭家屯分館

ガ最近探聞スル所ニ依レハ同人モ亦復辟運動ニ参加
シ三国公司ト関係ナキモノ如シト
又当地ニ国公司出張所主任タリシ中辻富三郎ナル者ハ
前年蒙匪事件ノ関係者ナルカ数ケ月前当地ヲ去リ
北満ニ赴キ目下海拉爾副都統賜福ノ通譯兼顧
問トナリ本運動ニ関係ヲ有スルモノ如シト
尚ホ奉天ニ於テハ中野英心石本権四郎其他某々少
対者モ亦仲ニ関係アル由風聞有之候ニ付当方面ニ於
テモ此様人物出入ノ際ハ注意致居候得共若探聞ノ儀
ハ参考ノ為及報告致候
敬具

写送付先　在支那公使　在奉天総領事
在齊齊哈爾領事
在満洲里出張所副領事

REEL No. 1-0688
0088
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580866
受02796號

大正八年三月十貳日 接受 政務局 第一課

機密公信第一二號

大正八年三月八日

在安東
領事 森安三郎

外務大臣子爵 内田康哉殿

宗社黨ニ關スル件

本件ニ關シ在奉天張巡閲使ハ兼テ蒙古派遣中ノ密偵淡國桓ナルモノヨリ客月二十八日左記要旨ノ報告ニ接シタル趣ニ有之候

前清朝皇族肅親王ハ近來蒙古ヲ根據地トシ密ニ蒙古人ヲ使役シテ日鮮人及本邦匪賊等ト連絡ヲ執リ各所ニ宗社黨ヲ組織シ同地ニ北方總機關部ヲ上海ニ南方總機關部ヲ置キテ兩部互ニ相聯絡シ以テ事ヲ擧ケムトノ計畫中ナルカ肅親王ヨリ該黨員ニ對シ交付ノ黨証ニハ「肅親王大皇帝裁給何某大元帥收執」ト記入シアリ尚ホ目下各地軍隊及警察等ニ密使ヲ派シ一旦事ヲ擧クルニ至ラハ直ニ内應セシメムト極力運動中ナリ云々

右ハ聞込ノ儘不取敢及報告候 敬具

寫送付先 在支公使

在安東日本領事館

REEL No. 1-0688
0089
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580867

電受三九三九號

上海発
本省着 大正八年三月十五日后 二、四八
一、三〇

内閣外務大臣

有吉總領事

第一一二號

姚文藻ガ最近恭親王ヨリ接到セル書面ヲ示シ林出ニ語ル所ニ依レバ「ロウシ」ノ活佛ハ密カニ数名ノ代表ヲ青島ニ派シ蒙古獨立ニ関シ恭親王ト協議セシムル筈ニテ青島ニ於ケル劉廷琛、升允等ハ之ト折衝ノ任ニ當リ上海ニ於ケル同氏ヲ除外セントシツヽアリ恭親王ハ張勲ガ事ヲ挙ゲタル際ニ於ケル劉廷琛一派ノ失敗ニ鑑ミ今回ハ従来日本側ニ接近シツヽアリシ上海ノ同志ニ於テ事ヲ謀ラシメントシ姚文藻、鄭孝胥、李経邁等ニ至急青島ニ来リテ蒙古代表ト折衝セシムルコトヲ慫慂シ来リシモ當地ノ同志者等ハ今青島ニ赴クバ青島ニ於ケル一派トノ間ニ内訌ヲ生ジ面白カラザル事態ヲ惹起スベキ虞アレバ當分青島行ヲ差控ヘツヽアル由次第ニテ該活佛ノ代表者等ハ本月二十日頃青島到着ノ予定ナリトノ事ナリ

（原書ハ蒙古ブリヤード独立関係ニアリ）

外務省

MT 1614 9 4032

MT 1614 9 4033

REEL No. 1-0688

0090

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

580868

電受四一九九號

上海発
本有者 大正八年三月二十日 後七一三
二十日前二二五

内閣外務大臣 有吉總領事

第一二三號（前略）

姚文藻ガ陸榮廷辞職ノ真相ナリトシテ林出ニ内話セル處ニ依レバ、最近徐世昌ハ唐紹儀ニ對シ、和平會議ニ於テ清帝優待條件ヲ金錫ニ清室所有土地財産等ヲ民國ニ提供セシメ別ニ一定ノ地ヲ劃シテ宣統帝ヲ遷サシコトヲ議セシコトヲ以テシタリシガ陸榮廷ハ之ニ憤慨シ唐ト関係ヲ絶ツタメ辞職ヲ

外務省

決心セルモノナリトシ又徐世昌ハ段祺瑞ヲ除カザレバ自己ノ立場困難ナルヲ以テ宣統帝師傅多文、世續、陸邦純等ヲ動カシ鄭孝胥、李經邁等上海ノ同志ニ打電シ陸榮廷ニ説キ段祺瑞ノ撤兵ヲ主張セシメンコトヲ以テセザルモ段ヲ撤兵セザレバ清室ノ危機益々急ナルベキヲ以テ却テ陸榮廷ヲシテ段ヲ撤兵セシメザル様取計フベク度ク若シ徐世昌ニシテ清室優待條件金錫ノ奉ニ出デシカ之ニ復辞断行ノ機ナリト信ズ云々ト述ベタル趣ナリ、

（原書ハ蔡吉ブリヤート独立関係ニアリ）

REEL No. 1-0688
0091
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp